

**問** 特別職に対応したパワハラ防止条例がなく、その制定が急がれると思うが、いつ頃の制定を予定しているのか。

**答** 本定例会での意見や市民からの声も参考にしつつ、次回定例会での提案に向け検討していく。



**市長によるパワハラ又はパワハラの言動等について**

**問** 調査報告を受け、市長自身はこの結果をどのように受け止めているか。

**答** 実態調査報告書については、匿名のアンケート調査であり、職員の安全保護のため、具体的な内容の確認はできないが、職員の意見については真摯に受け止め、今後の市政運営に取り組んでいく。

**少子化対策について**

**問** 出生数が2年連続で100人を切っているが、今年度の見

込みは何人か。また、今後の対策は。

**答** 令和6年度の出生数は63人となる見込みで、少子化がさらに進んでいることに強い危機感を抱いている。

総合的に多角的な対策を講じる必要があり、若者の就業ニーズを満たす雇用の場を確保し、多様なライフスタイルに対応しながら、安心して働くことができる職場環境の形成などを通じて、転出した若者のUターン意欲を喚起していく。

また、出会い応援や妊娠出産、子育てへと切れ目のない支援の充実に努めていく。

## 質問した項目

- 市長によるパワハラ又はパワハラの言動等について
- 少子化対策について



湯瀬 弘充 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分

**問** 旧十和田高校の校舎等の取得に対し、県に伝えたい市の検討内容とその結果は。

**答** 敷地は市のまちづくりにとって重要であり、野球場に希望し、前向きに検討をいただいている。



**十和田湖周辺の消防救急体制について**

## 質問した項目

- 十和田湖周辺の消防救急体制について
- 上沼牧地周辺の風力発電事業について
- 市長のパワハラ問題について
- 旧十和田高校の校舎等の取得について
- 市内の中核病院以外の医院やクリニックの今後の見通しについて

**問** 消防応援協定の締結について一定の合意となったが、鹿角広域行政組合で対応した期間、どのような問題があったか。

**答** 令和2年度から十和田湖出張所を設置し、常時2名を配置しており、火災・救急事案には小坂、十和田分署から緊急車両が到着するまで初期対応に当たっている。到着まで30分以上要するほか、秋田県側の事案に青森県側から救急車が出動

しないことに間合わせもあった。協定締結により十和田湖周辺の消防救急体制の強化が図られると考える。

**市内の中核病院以外の医院やクリニックの今後の見通しについて**

**問** 医療機関開設資金支援事業を利用し、2つの医院が開設された。今後2桁程の歯科医院が高齢化により減少する見込みだがこの状況に対する市の考えは。

**答** 現在の歯科診療所の管理者は50代後半から60代が多く、将来的な減少が見込まれる。支援事業の補助対象に歯科の開業や承継等の追加を検討し、良質な歯科保健医療が受けられるよう取り組む。



成田 哲男 議員（誠心会）

質問時間 30分